

## あげな中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	あげな中学校				
開始年度	令和3年	登録ボランティア	15人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	あげな中学校	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・読み聞かせボランティア(学期1回予定 今年度は、コロナの為1回開催11/16)
- ・放課後、保護者・地域の方の消毒作業
- ・地域生徒会
- ・未来塾(今年度開催ナシ)
- ・自治会10字の広報紙を学校掲示
- ・公民館との連携事業 4回(地域ボランティア・地域清掃)



### ◆工夫していること

- ・地域に地域学校協働活動としての理解を深める。
- ・学校長が自治会を巡り挨拶を行っている(10字自治会長と学校長との意思疎通が図りやすくなった)
- ・生徒が下校した後の消毒作業、保護者、地域の方(PTA室)を消毒作業者控室、道具保管室として管理している。
- ・自治会の行事(美化作業、イベント等)に生徒のボランティア活動(地域生徒会)の参加(自治会より依頼をうけ、学校からも呼び掛けてもらう)
- ・地域コーディネーターと自治会長と連携し行事案内などの学校掲示、学校案内を行っている。

### ◆成果と課題

- 現在消毒作業のおかげで、安心して学校生活を送れている。
- 地域生徒会として生徒が、自治会に参加する機会が増えてきた。
- コロナも治まりつつあり、行事、読み聞かせ等が実施できるようになってきた。
- 自治会の活動の周知を行うことにより生徒が地域に興味を持ってもらえるようになった。
- ▲新型コロナ感染拡大により4月から未来塾が開催できておらず、来年度は是非とも実施できるよう努めたい。
- ▲継続して地域生徒会を行えるよう今後も地域・家庭・学校の連携を行ってきたい。
- ▲学校ボランティア人材の活用を計画し実践していけるようにしたい。

## 高江洲中学校区地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立高江洲中学校				
開始年度	平成26年	登録ボランティア	58人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	学校	連携機関・団体	青少年センター、なかきす児童センター 大樹会、蘭らんラン	

### ◆代表的・特徴的な活動

- 1 「大樹会」「蘭らんラン」による草刈り作業や花植え等の校内環境の整備
- 2 定期的な朝の読み聞かせ活動、中3対象の読み聞かせ講演会、授業のサポート(ミシン)等
- 3 放課後子ども教室(ダンス)、放課後学習支援教室[運営]
- 4 部活動外部指導者の連絡・調整
- 5 夜間街頭指導(第3金曜日) 6 朝の交通安全活動



### ◆工夫していること

- 1 読み聞かせボランティア同士の輪が広がり、メンバーが増えてきた。
- 2 担当職員とコーディネーターが連携を密に行っている。
- 3 コロナ禍で活動が中止になっているが、自治会等が校区内を平日も巡回してくれる。

### ◆成果と課題

- [学校]「蘭らんラン」の活動により、敷地内に花があふれている。
- [学校]「大樹会」の活動により、周辺の草が短く整えられている。
- [コ]「読み聞かせ」では、保護者を中心に連絡調整が行える。
- △[コ]OB頼りのところがあり、現役の保護者を増やすことが課題である。



## 具志川東中学校地域学校協働本部(うるま市)

構成学校	うるま市立具志川東中学校				
開始年度	平成23年	登録ボランティア	21人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	具志川東中学校	連携機関・団体	マザーハートの会	

### ◆代表的・特徴的な活動

- \* 民生委員・職員（校長 指導部）による朝の登校指導（安全面 あいさつ運動）
- \* 地域コーディネーター・PTA環境委員による校庭内美化作業（月1回）
- \* 学校・各自治会の取り組み（行事）の連携協力
- \* 朝の生徒への本の読み聞かせ・人権講話（マザーハートの会）の開催
- \* 校区生徒指導連絡協議会の開催

### ◆工夫していること

- \* 地域の各取り組みにおいて、学校職員も役割分担をし参加できる体制づくり。
- \* 各自治会の地域生徒会を結成し、各地区リーダーを中心にそれぞれの取り組みの参加を促している。
- \* 地域人材を活用しての講話会の開催。

### ◆成果と課題

- 学校取り組み（行事 講話会等）に対し、地域からの協力がより高まった。
- 子供たちの登校時からの安全面、問題行動に対しての連携協力がよい。
- △子供たちを地域・学校一体で支えているという認識が子供たち、そして保護者へより高まるようにしたい。

## 宮古島市地域学校協働本部(宮古島市)

構成学校	市内小学校(平良第一小学校、北小学校、南小学校、東小学校、久松小学校、鏡原小学校、狩俣小学校、池間小学校、西城小学校、城辺小学校、砂川小学校、下地小学校、上野小学校、伊良部島小学校) 市内中学校(平良中学校、北中学校、久松中学校、鏡原中学校、西辺中学校、狩俣中学校、池間中学校、下地中学校、上野中学校、伊良部島中学校、城東中学校)				
開始年度	令和2年	登録ボランティア	人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会・ 伊良部島小中学校	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・朝の読み聞かせ
- ・登下校安全指導
- ・十五夜シーシャープづくり
- ・魚さばき体験
- ・町探検
- ・平和学習

### ◆工夫していること

- ・地域の人材を活用して、学校行事に参加するボランティア確保に努めています。
- ・活動するにあたって、学校と十分に話し合いを持つようにしています。

### ◆成果と課題

- 【教委】令和元年度までは2中学校区でしか活動していなかったが、令和2年度からは市内全中学校に拡大し、活動の幅が広がっている。
- △【教委】コロナウイルス感染防止のため、活動停止期間が長くあったこと。また、コーディネーター新規人材の確保に至っていない。
- 【コ】民間企業提案の職場体験活動を学校とつなぐことができ、コロナ禍で活動が制限される中、子どもたちに体験の機会をつくることできた。
- △【コ】PTAや自治会など地域連携を強化していきたい。

## 南城市地域学校協働本部(南城市)

構成学校	玉城中学校、知念中学校、久高中学校、佐敷中学校、大里中学校 玉城小学校、船越小学校、百名小学校、知念小学校、久高小学校 馬天小学校、佐敷小学校、大里南小学校、大里北小学校				
開始年度	H20年	登録ボランティア	323人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	9人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	・教育委員会・玉城 小学校・知念小学校	連携機関・団体	うふざとうぬ会、ミントウンの会 さしちぬ会、ちにな太陽の会	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・玉城地区、知念地区、佐敷地区、大里地区にあるそれぞれのボランティア組織が、コーディネーターと連携し学校支援を行う
- ・授業、放課後、早朝の学習支援（採点補助、個別指導）
- ・PTAを中心とした読み聞かせ
- ・手芸、茶道、折り紙、空手、しまくとぅば等のクラブ活動指導及びサポート人材の配置
- ・ボランティアが自然案内や市内史跡等、地域案内を行う総合学習
- ・平和学習
- ・学校内外の花壇、菜園、農園などの環境整備
- ・朝の交通安全指導
- ・書初め指導
- ・野菜作り指導
- ・運動会に向けてのエイサー指導
- ・外国籍児童を含む、児童・生徒への寄り添い支援



### ◆工夫していること

- ・公式LINEアカウントを活用し、ボランティア募集を行い、全地区に人材共有を行っている。
- ・ボランティア証明書の発行を導入し、学生の参画が増えるよう工夫している。
- ・ボランティアに入る際の心得を作成し、ボランティアの方々に配布している。
- ・学校側とボランティアの希望をきちんと把握し、双方の希望に合うよう適切にコーディネートできるよう心がけている。
- ・PTAや学生など幅広い人材が学校と関わられるように道筋を作ることも意識している。

### ◆成果と課題

【本部】若者のボランティアが少ないことが課題だったが、大学や専門学校へ募集案内をし学生の参画に繋がった。

【学校】ボランティアの心得を作成したり、双方の希望に合うよう適切にコーディネートできるよう心がけるなど、工夫したことによりボランティアと教員の協調が取りやすくなった。

【コ】学校現場では常に学習支援の要望が多いが、学生の参画が増えたことにより、ボランティアで対応できる人材が増えてきている。

## 本部町地域学校協働本部(本部町)

構成学校	本部小学校、本部中学校、瀬底小学校				
開始年度	H20 年	登録ボランティア	30 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	6 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	各学校	連携機関・団体	各行政区、PTAなど	

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【本部小学校】

- 平和学習の補助  
地域の戦争体験者による講和を実施した。
- 学習発表会の指導（三線）  
地域ボランティアが三線を指導し、学習発表会で発表することができた。



三線指導（学習発表会）

#### 【本部中学校】

- 学校行事の補助  
地域ボランティアが各種健康診断の補助や運動会の着付け係りなどの役割を担った。
- 放課後の体験活動  
放課後の調理くらぶ、手芸くらぶを地域ボランティアが実施した。



三線指導（学習発表会）

#### 【瀬底小学校】

- 読み聞かせ  
地域ボランティアを募り読み聞かせを実施。
- 学習発表会の指導（組踊、三線）  
地域ボランティアが組踊や三線を指導し、学習発表会で発表することができた。



手芸くらぶ



お菓子作り体験

### ◆工夫していること

- 他校のコーディネーターとの連携を密にし、好事例等の情報共有に努めている。
- 放課後子ども教室と連携し、講師やボランティアを紹介するなどの情報交換を行っている。

### ◆成果と課題

- 学習発表会などの学校行事支援をきっかけに地域との繋がりを築くことができた。地域、児童らお互いに声掛けすることが増えた。
- △一部のボランティアに負担が偏っている。新たなボランティアを発掘するため、周知活動に取り組みたい。

## 恩納村地域学校協働本部(恩納村)

構成学校	安富祖小学校・喜瀬武原小学校・恩納小学校・仲泊小学校・山田小学校 うんな中学校				
開始年度	H26年	登録ボランティア	50人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会 社会教育課内	連携機関・団体	各自治体・各校PTA・村内事業	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・稲作プロジェクト(田植え体験)
- ・習字クラスサポート
- ・環境学習(サンゴの海を守るSDGsの取り組みなど)
- ・マイクロバス運転手
- ・平和集会サポート(朗読劇)
- ・平和学習フィールドワーク
- ・歌碑めぐり
- ・文化財講話
- ・歴史ロード散策
- ・干潟観察
- ・地層見学
- ・伝統芸能講話
- ・パンフレットの作り方講話
- ・校外学習サポート
- ・福祉学習(方言劇:R3年3月)



### ◆工夫していること

- ・コロナ禍の中で、地域ボランティアとの関わりが難しい状況が続いたこともあり、できるところは事業所や村職員に協力を依頼した。
- ・バスの運転手の要望が多かったため、ボランティアさんに校外学習予定をまとめてお知らせし、早めのスケジュール調整をお願いした。



### ◆成果と課題

- 【コ】多くの村職員や事業所の方々が、学校のために協力を頂いた。  
横の連携を図ることで、今後の連携強化につながった。
- 【ボ・コ】村関係機関等を利用した学習が大幅に増え、次年度以降の新たな学習メニューとして、学校側に提案できそうなものができた。
- △【コ】校外学習において、通常の倍のバス運転手の確保に苦勞した。マイクロバ等の代わりに、公民館者等の借用で対応した。(コロナ対策のため)



## 読谷中学校区地域学校協働本部(読谷村)

構成学校	渡慶次幼稚園・読谷幼稚園・喜名幼稚園・渡慶次小学校・読谷小・喜名小・読谷中学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	77人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	自治会・PTA・民生委員	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・新1年生の給食配膳補助
- ・図書の新着/整理の補助
- ・教員等OBの高校入試模擬面接指導
- ・平和学習の戦争体験者講話
- ・環境整備



〈高校入試模擬面接指導〉 〈理科机ペンキ塗り〉 〈更衣室カーテン作り〉

### ◆工夫していること

- ・ボランティア活動がスムーズに取り掛かれるように活動推進員は事前調整に努めている。
- ・ボランティア養成講座を開催し、事業の周知と共に地域人材の掘り起こしに繋げている。
- ・各学校で参考になりそうな事例をご案内し、環境整備へつなげている。

### ◆成果と課題

- 【学校】・コロナ禍のため三密を避けて行う屋外活動や学習支援の補助など、環境整備では学習環境の整備を行って頂き、学習環境がより良くなりました。
- 【ボ】・コロナ禍、例年通りの充実した活動とはならない中でも、子ども達のより良い学習環境を整える事が出来て良かった。
- 【推進】・平和学習では、戦争体験者の講話講師がご高齢となり、実施が難しくなっているため今後の取り組み方が課題。しかし前年度課題だったボランティアの確保については、今年度は新規加入者が多くボランティアの輪が広がった。
- △【本部】・年度当初に学校への事業説明を取り入れ、共通理解が得られるようにする。前年度に比べ各学校には周知されていますが、引き続き周知活動が必要。

## 古堅中学校区地域学校協働本部(読谷村)

構成学校	古堅幼稚園・古堅南幼稚園・古堅小学校・古堅南小学校・古堅中学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	45人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	自治会・PTA	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・補習時間の丸付け
- ・平和学習の講師や現地ガイド
- ・郷土学習



### ◆工夫していること

- ・担当の先生と活動推進員が調整しやすい時間を指定してもらう。
- ・ボランティア活動との連絡を密にし協力体制を整えている。
- ・学校に活動事例等を情報共有し、事業の活用を促している。

### ◆成果と課題

- 【学校】・学習支援など継続的な取り組みに関しては連携が取れているので、子ども達の学習活動に対し意欲的に取り組むことができた。
- 【ボ】・今年度もコロナ禍により、子ども達とのふれあい交流ができず残念でしたが、平和学習では子ども達と活動行うことが出来て良かった。
- 【推進】・コロナ禍の影響を受けましたが、平和学習は例年より時期をずらし平和学習を行う事が出来ました。また古堅中校区でも読谷中校区の取り組みについて、情報提供を行うなど、活動の幅を広げる。
- △【本部】・年度当初に学校への事業説明を取り入れ、共通理解が得られるようにする。前年度に比べ各学校には周知されていますが、引き続き周知活動が必要。

## 嘉手納中学校区地域学校協働本部(嘉手納町)

構成学校	嘉手納中学校				
開始年度	H30 年	登録ボランティア	80 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	嘉手納中学校	連携機関・団体	自治会、緑樹会	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の交通安全指導、挨拶運動
- ・読み聞かせ ・学習支援
- ・環境整備
- ・運動会時、エイサー指導
- ・総合学習 (ふるさと教育)



### ◆工夫していること

- ・「地域人材活用実施計画」を作成し学校と地域の調整を円滑にしやすいようにしている
- ・ボランティアを募集する際、チラシ配布と団体へ声掛け横断幕掲示をしている。
- ・活動後、ボランティアの情報交換交流の時間をもつ。
- ・他校のコーディネーターとの情報交換および連携。

### ◆成果と課題

- 【成果】・年間計画表を作成することにより、コーディネーターの役割を明確にすることができ先生方との調整が取りやすくなった。
- 【課題】・今後も継続的に事業の内容や活動を地域の方や先生方への周知とボランティアの募集を行う。
- ・新規の人材(ボランティア)の確保。

## 嘉手納小学校区地域学校協働本部(嘉手納町)

構成学校	嘉手納小学校				
開始年度	H30 年度	登録ボランティア	80 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	嘉手納小学校	連携機関・団体	自治会、緑樹会	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の交通安全指導、挨拶運動
- ・読み聞かせ
- ・学習支援
- ・環境整備
- ・プール指導



### ◆工夫していること

- ・教頭先生や地域連携担当教諭と調整しながら年度計画表に従いボランティアを依頼。
- ・ボランティアを募集する際、町内団体へ説明。文書の配布と声掛けをしている。
- ・活動後、ボランティアの情報交換交流の時間をもつ。
- ・他校のコーディネーターとの情報交換および連携。

### ◆成果と課題

- 【成果】・年間計画表を作成することにより、コーディネーターの役割を明確にすることができ先生方との調整が取りやすくなった。
- 【課題】・今後も継続的に事業の内容や活動を地域の方や先生方への周知とボランティアの募集を行う。
- ・新規の人材(ボランティア)の確保。制度の周知

## 屋良小校区地域学校協働本部(嘉手納町)

構成学校	屋良小学校				
開始年度	H30 年	登録ボランティア	80 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	屋良小学校	連携機関・団体	自治会、緑樹会	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・登校時の交通安全指導、あいさつ運動
- ・読み聞かせ
- ・環境整備
- ・運動会時、エイサー指導
- ・平和学習



### ◆工夫していること

- ・教頭先生や地域連携担当教諭と調整しながらボランティア人材活用の相談連携。
- ・活動後、ボランティアの情報交換交流の時間をもつ。
- ・ボランティアの依頼をする際には、SNSも利用しながら調整。
- ・他校のコーディネーターと定例で連絡会を開催し、情報交換および連携。

### ◆成果と課題

- 【成果】**・年間計画表を作成することにより、コーディネーターの役割を明確にすることができ先生方との調整が取りやすくなった。
- 【課題】**・今後も継続的に事業の内容や活動を地域の方や先生方への周知とボランティアの募集を行う。  
・新規の人材（ボランティア）の確保。

## 北谷中学校地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	北谷中学校				
開始年度	H29 年	学習支援員	10 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	北谷中学校	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾（毎週火,水,木曜日16:00~18:00）
  - ・通年にわたり学習支援に取り組んでいる。
  - ・各種検定（英語検定・漢字検定・数学検定等）対策の実施。



### ◆工夫していること

- ・地域学校協働活動推進委員（コーディネーター）が調整役として、受講生徒への周知活動（生徒募集及び管理、活動時間や場所の確保等）や学習支援員の配置等を行うことにより、活動の安定的な推進（学校との連携等）につながっている。
- ・生徒の特性（学力・生徒指導面）に応じて、学習内容、活動時間や場所など、臨機応変に対応している。

### ◆成果と課題

- 【学校】生徒個人の学力、特性等を知ることができた。また、生徒たちが問題のどの場面ですみずきやすいのかを知ることができた。
- 【学校】自宅学習や宿題で解けない問題や疑問に対応できている。
- 【コ】何でも質問できる雰囲気や学習意欲につながっている。
- △【学校】活動場所の固定
- △【学校】もっと支援が必要な生徒に参加してほしい。
- △【コ】途中で人数が減る傾向にあるので、前期、後期の募集が必要。



## 桑江中学校地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	桑江中学校				
開始年度	R2 年	登録ボランティア	34 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	桑江中学校	連携機関・団体	自治会・民生委員	

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域の自治会活動への参加・ボランティア協力
  - ・自治会まつりやイベントの生徒ボランティアを募集し、地域の方々と協力し、行事準備や片付け等を行った。
- 校内美化活動への協力
  - ・区的环境ボランティア員による校内の美化作業（月に2回）
- 民生委員による交通安全指導
- 地域未来塾（毎週月・水曜日）
  - ・週2日、特別支援教育支援員やAET、退職教員による個別の学習支援（検定、定期テスト、高校入試対策を行っている）



### ◆工夫していること

- 地域の行事への参加・ボランティア協力
  - ・生徒ボランティア募集は、地域コーディネーターが中心となり生徒に呼びかけて、自治会と連携・協力している。
  - ・地域担当（職員）や地域コーディネーター、管理職（教頭）が集まり情報交換や学習会を行っている。
- 地域未来塾
  - ・各個人のニーズに合う学習支援を行う事で、生徒達の理解していない細かな部分を知る事ができて、普段の授業で十分に対応できない部分のサポートを行っている。

### ◆成果と課題

- 【地域の自治会活動への参加・ボランティア協力】
- 【学校】地域の方（特に高齢者）が中学生と接する機会が増えた。
- △【学校】地域の方々を学校ボランティア員として授業や教育活動で活用し「ひらかれた学校」「ひらかれた桑江中」という教育活動を展開していきたい。
- 【地域未来塾】
- 【学校】参加している生徒から「毎日未来塾が開いてたら部活と勉強を両立できると思う」との意見があった。
- △【コ】継続して参加する生徒が少ないので募集に力を入れたい。
- △【学校】各種検定試験の合格率が上がるよう計画的な取組を行いたい。

## 北玉小学校区地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	北玉小学校				
開始年度	H29年	学習支援員	4人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	北玉小学校(家庭科室)	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾(毎週金曜日15:15~16:15)
  - ・学習支援員を活用し、放課後の学習を支援する。
  - ・子ども達の居場所づくりになっている。
  - ・苦手な教科がある子に対してマンツーマンで対応している。
  - ・集中できない子への対応ができる。



### ◆工夫していること

- ・生徒一人一人、無理なく楽しく学習出来る様な環境づくり。
- ・コロナウイルス感染予防の為、消毒、マスク着用、換気の徹底。
- ・全体的に目が届くように、個人の席を決め着席している。
- ・支援員や児童同士が名前を覚えることが出来るよう名札の他にネームプレートを準備している。

### ◆成果と課題

- 【学校】席に着いたらすぐに宿題にとりかかる習慣がついてきた。
- 【教委】個々の学習レベルに合わせた支援ができるよう学習支援員を十分に配置した。
- 【コ】学習支援員との連携が図られた。
- △【コ】宿題等が早く終わり、活動時間を持て余してしまう児童への対応。

## 浜川小学校区地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	浜川小学校				
開始年度	H29年	学習支援員	7人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	浜川小学校(図工室)	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾(毎週月、火、木、金曜日15:15~16:30)
  - ・学習支援員を活用し、放課後の学習を支援する。
  - ・子ども達の居場所づくりになっている。
  - ・勉強が苦手な教科がある子に対して、マンツーマンで対応できる。
  - ・集中できない子への対応ができる。



### ◆工夫していること

- ・生徒一人一人、無理なく楽しく学習出来る様な環境づくり。
- ・コロナウイルス感染予防の為、消毒、マスク着用、換気の徹底。
- ・全体的に目が届くように学年ごとに個人個人の席を決め着席している。



### ◆成果と課題

- 【学校】週4日実施することで学習習慣の定着が図られた。
- 【コ】学校と連携することで急な変更等への保護者連絡等がスムーズにできた。
- △【コ】申し込みをしているが来ない児童への対応。
- △【コ】宿題等が早く終わり、活動時間を持て余してしまう児童への対応。

## 北谷第二小学校地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	北谷第二小学校				
開始年度	R3 年	学習支援員	6 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	北谷第二小学校(図工室)	連携機関・団体		

### ◆代表的・特徴的な活動

- 地域未来塾【学習支援(毎週月、金曜日)・プログラミング教室(毎週火曜日)】
  - ・大学生や退職教員が学習支援員となり放課後の学習支援をする。
  - ・苦手な教科がある子に対してマンツーマンで対応している。
  - ・ICTを活用した学習に取り組むことが出来た。

### ◆工夫していること

- ・生徒一人一人、無理なく楽しく学習出来る様な環境づくり。
- ・コロナウイルス感染予防の為、消毒、マスク着用、換気の徹底。
- ・全体的に目が届くように、学年ごとに席を決め着席している。



### ◆成果と課題

- 【学校】学習習慣が身についてきた。(着席したらすぐ宿題にとりかかる。)
- 【コ】GIGAスクールのタブレット端末を活用したプログラミングに挑戦させた。
- 【コ】プログラミング指導者研修会を開催し、学習支援の方法を統一することができた。
- △【コ】申し込みしているが来ない子への対応や、走り回ったりする子への対応。

## 北谷小学校区地域学校協働本部(北谷町)

構成学校	北谷小学校				
開始年度	H19 年	登録ボランティア	55 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	1 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	北谷小学校	連携機関・団体	PTA・老人クラブ	

### ◆代表的・特徴的な活動

- チャレンジ教室(ものづくり、漢字検定へ向けての学習、クッキング)
- サマースクール(夏休みの宿題、つまづき部分の学習支援、応用学習など)
- 地域ボランティアによる登下校時の安全見守り。



### ◆工夫していること

- チャレンジ教室
  - 家庭で取り組むことが難しいものづくりや体験をコーディネーターとサポーターが中心になって活動している。クッキングは材料代として、教材費を徴収し、食育の一環として料理を作り、食べて学んでいる。漢字検定の取り組みとして漢字プリント、漢字カルタを取り入れ漢字の学びを行っている。
- 登下校時の安全見守り
  - 年度初めに自治会(地域)にボランティア登録を依頼し用紙を配布している。



### ◆成果と課題

- 【チャレンジ教室】
  - 【コ】サポーターと児童の登録も増え、放課後の居場所作りが充実している。
  - 【学校】学級や学年とは違う取り組みがあるので子供たちも楽しんで参加している。
- 【地域ボランティアによる登下校時の安全見守り】
  - 【学校】登下校の安全見守りの継続で安全面への配慮ができた。

# 北中城村地域学校協働本部(北中城村)

構成学校	北中城中学校 北中城小学校 島袋小学校				
開始年度	平成20年	登録ボランティア	80人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	父母教師会 青年会 自治会 読み聞かせサークル		

## ◆代表的・特徴的な活動

### 環境整備

小学校玄関

玄関壁のペンキ塗り作業 (地域の方)



### キャリア学習支援

中学校3年生

高校入試面接練習の面接官を役場の職員を中心に地域の方々をお願いした。



### 読み聞かせ

月1回の読み聞かせ

### 教材園の整備

教材園を耕運機で  
耕し植え付け準備

### 個別学習支援

学生・地域の方・退職教員による個別の学習支援

### バスの運転

生徒の送迎のためのバスの運転

## ◆工夫していること

- コーディネーターの協力体制
- 村内各種団体との連携
- ボランティアを依頼しやすい雰囲気作り (学校へ足を運ぶこと)
- 気持ちよくボランティア活動をしてもらえるように声かけ

## ◆成果と課題

- 成果○
- 学校のエントランスの壁のペンキ塗りや、教材園の整備などの環境整備を、気軽に積極的に関わってもらえる地域のボランティアグループとの繋がりができた。
- 個別の学習支援をしてもらうことで、個々のレベルの指導ができ、学習意欲が向上。
- 面接練習の面接官を役場の職員をお願いすることで、学校と役場の関わりができた。
- 課題●
- 地域とつなげたい生徒の関わらせ方の工夫

## 中城村地域学校協働本部(中城村)

構成学校	中城中学校、中城小学校、津覇小学校、中城南小学校				
開始年度	H25 年	登録ボランティア	50 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	4 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	自治会、子ども会、商工会、	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・バスの運転手（中城小学校、津覇小学校、中城南小学校）
- ・授業に遅れがある児童の学習支援（中城中学校）
- ・外国籍児童の学習支援（中城南小学校）
- ・平和学習（全校）
- ・職業人講和（中城中学校）
- ・地域散策（中城小学校、津覇小学校、中城南小学校）
- ・中城城跡見学（中城小学校、津覇小学校）



中城城跡見学（中城小学校）

### ◆工夫していること

- ・学校の現状を把握し、意見を汲み取りやすくするため各学校にコーディネーターを1人配置。
- ・週に1回、コーディネーターと生涯学習課職員でミーティングを行い、情報交換をしている。

### ◆成果と課題

- 【本部】本部内の情報交換による連携が図られた。
- 【コ】地域へ積極的に関わることにより、幅広い人材のボランティアに参加してもらえるようになった。
- 【学校】子どもたちの様々な学習支援に携わることで、授業の進行が少しでもスムーズになった。
- △【本部】コーディネーター業務について、学校や地域へより理解を深められるよう工夫する必要がある。

## 西原町地域学校協働本部(西原町)

構成学校	坂田小学校、西原小学校、西原東小学校、西原南小学校、西原中学校、西原東中学校				
開始年度	H22 年	登録ボランティア	130 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	6 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	自治会、PTAなど	

### ◆代表的・特徴的な活動

- ・地域、保護者ボランティアによる交通安全指導
- ・朝の読み聞かせ
- ・裁縫補助（ミシン教室）
- ・朝ドリルの丸付け
- ・環境整備（花壇の手入れなど）
- ・学習支援（平和学習）
- ・キャリア教育（職業人講話・マナー講習）
- ・学校行事支援（避難訓練の交通誘導、運動会演舞指導）
- ・ボランティア外部コーチによる部活動指導



### ◆工夫していること

- ☆地域学校協働活動推進員の意見交換、情報交換の機会を設けている。
- ☆学校、自治会、民生員、部活動指導員、学童との情報交換。
- ☆ボランティアさんへ日頃の感謝を伝える機会を提供。
- ☆ボランティアさんが参加しやすいよう場所の確保。



### ◆成果と課題

#### ◎成果

- ・児童の登下校の安全確保が出来ている。
- ・地域、保護者にボランティア活動が定着してきた。
- ・社会教育担当職員と地域コーディネーターをLINE等で情報提供。

#### ◎課題

- ・コロナ過で十分な活動ができなかった。
- ・教職員に地域コーディネーターの役割を周知させること。
- ・地域ボランティアの高齢化、子育て世代のボランティア数を増やしたい。

## 与那原町地域学校協働本部(与那原町)

構成学校	与那原幼稚園・与那原東幼稚園・与那原小学校・与那原東小学校・与那原中学校				
開始年度	H24 年	登録ボランティア	50 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	生涯学習振興課	連携機関・団体	社会福祉協議会・民生委員・厚生 保護女性会・与那原町役場	

### ◆代表的・特徴的な活動

#### 【小学校】

- 書道の指導
- 家庭科「ミシン実習」の補助
- 瓦工場見学
- 福祉学習

#### 【中学校】

- 福祉学習  
(車椅子体験・アイマスク体験)
- 福祉講話
- 職業人講話
- 推薦入学対象者への模擬面接



### ◆工夫していること

- 地域の方とのつながりを作るために、コーディネーターが老人会や民生委員の定例会へあいさつへ伺っている。
- ボランティアの活動日に合わせて、コーディネーターも現場へ同行し、ボランティアの活動の様子や意見などを直接見聞きするようにしている。
- 近隣のコーディネーターさんとの情報交換を定期的に行うことで、良い事例を参考に学校側へ持ちかけている。

### ◆成果と課題

- 子どもたちから、ボランティアが加わった授業などが楽しかったとの声が聞かれる。
- ボランティアに参加した地域の方から、子どもたちから元気をもらえるとの声が聞かれる。
- 定着してきた事例が、少しずつではあるが、増えてきた。
- △地域連携の担当教員によって、依頼数への変動が大きい。
- △定年後の地域の方がボランティアの大半を占めているため、大学生など若い世代の力もほしい。
- △PTA等、子育て世代との連携が課題

# 南風原町地域学校協働本部(南風原町)

構成学校	南風原中学校、南星中学校、南風原小学校、津嘉山小学校、北丘小学校、翔南小学校				
開始年度	H21年	登録ボランティア	258人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	5人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	町立中央公民館	連携機関・団体	PTA、役場、社協、JA、耕組合、商工会、青年会議所、中小企業家同友会、社会教育団体、各種学校、医療法人、NPO	

## ◆代表的・特徴的な活動

- 1.南風原中学校：1年総合学習SDGsの視点で自分達が住み続けられる町にするために8つのテーマを学習し発表
- 2.南星中学校：1年総合学習「学校創立と耕講話」校章や制服に込められた思いと、琉球耕の産地としての継承と発展を学習
- 3.南風原小学校：6年総合学習 キャリア学習「職業人講話 理学療法士」職業についての講話と体軸トレーニングの実践
- 4.津嘉山小学校：3年総合学習「大好き私たちの町、南風原町」耕織り機についてインタビュー学習と体験
- 5.北丘小学校：道徳 心の講演会「周りとかがってほしいようぶ」LGBT当事者による、オンライン講話
- 6.翔南小学校：4年総合学習「車イストラベラーの話」と車イス体験



1.南風原中・屋外戦跡案内



2.南星中・学校創立と耕講話



3.南風原小・体軸トレーニング

## ◆工夫していること

- ・年度初めに町内小中学校の教職員と各種団体へ「学校応援隊はえばる」事業説明
- ・事業周知と広報活動（町の広報誌掲載と壁新聞の発行、事業報告書の作成(冊子)、活動写真展示会、退職教員や大学、保護者へのボランティア募集）
- ・実行委員会、教頭連絡会、平和学習担当者連絡会の開催
- ・コロナで中止のボランティア懇親会代替え（冊子発行）
- ・事務局とコーディネーターの月定例ミーティングの開催
- ・自主研修会企画や、他市町村、関係団体と情報交換等を行う
- ・コロナ禍の学習において、積極的にオンラインを活用し事前打合せや授業を実施



4.津嘉山小・耕織り体験



5.北丘小・心の講演会



6.翔南小・車イスユーザ講話

## ◆成果と課題

- 【学校】コロナ休校の影響を受けたが、学習時期をずらしたり、密を避ける工夫をすることで、例年通り実施することが出来た
- 【学校】多彩な講師を招き、講話以外にも体験学習やフィールドワーク等を行うことで、より学びが深まった
- 【コ】コロナの状況に合わせ、学校と相談しながら授業を実施することが出来た
- 【コ】キャリアや福祉学習等で、新しい人材の発掘や活用が出来た
- 【地域】南風原町に特化したSDGsを学ぶことで、さらに地域連携が深まった
- △【教委】学校内のオンライン環境と機材等の整備が求められる

## 八重瀬町地域学校協働本部(八重瀬町)

構成学校	町内小中学校(全6校) 中学校:東風平中学校、具志頭中学校 小学校:東風平小学校、白川小学校、具志頭小学校、新城小学校				
開始年度	H23 年	登録ボランティア	50 人	地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	2 人
地域学校協働活動推進員等 (コーディネーター)	の配置場所	教育委員会	連携機関・団体	-	

### ◆代表的・特徴的な活動

#### ●講師の派遣

- ・クラブ活動指導員(全小学校)
- ・平和学習講話(全小中学校)
- ・職業インタビュー(新城小)
- ・職業人講話(東風平中)
- ・観光プロモーション講話(白川小、東風平小、具志頭小)
- ・総合学習支援(白川小、東風平小、新城小、具志頭小)
- ・書道指導(東風平小、新城小)

#### ●校外学習の訪問先調整

##### 〈小学校〉

- ・2年生活科まちたんけん(東風平小、新城小)
- ・3年総合学習(白川小、東風平小、新城小)
- ・4年総合学習(東風平小、新城小)
- ・5年総合学習(白川小、東風平小)
- ・6年総合学習(東風平小)

##### 〈中学校〉

- ・1年総合学習(東風平中)
- ・1年職場体験(東風平中) ※中止

### ◆工夫していること

- ・R3年度の依頼数増のための活動として、試験的に各学校の職員会議に参加、これまでやってきた取り組み内容を先生方へ伝えた。その後、東風平小はR2年度末に計画の段階で各学年の話し合いに参加し、コーディネーターが出来ることを拾い上げ、R3年度の授業計画を一緒に練り上げた。
- ・八重瀬と比べ、活動がより進んでいる市町村へ出向き、活動の進め方を聞き取りに行った。

### ◆成果と課題

- △【本部】現在、生涯学習文化課が本事業を主管しているが、事業をより円滑に遂行するとともに、コミュニティ・スクール導入の検討実施に合わせ、学校主管課(学校教育課)とより密接な連携・調整が必要。
- 【コ】4月に各学校を訪問、各校教員に事業の説明を行うと共に、コーディネーター活用のチラシ及び依頼書を配布。
- △【コ】コロナ禍による休校・活動縮小の影響により、中止した活動がいくつかあった。
- ×【コ】先生方にタイムリーに活動内容がわかるよう発信するツールがないため、町HP内に地域学校協働本部のページを設置出来るように依頼中。
- 【コ】先生方が何かしようと思ったら、とりあえずコーディネーターに相談してみるという、声をかけてくれる関係性の構築が出来た。